

保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	ジグソー EJ-400SC		お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	1 年
お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電 話	()		
販売店	住 所 店 名	☎ ()		

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ) 本書の提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元

 藤原産業株式会社

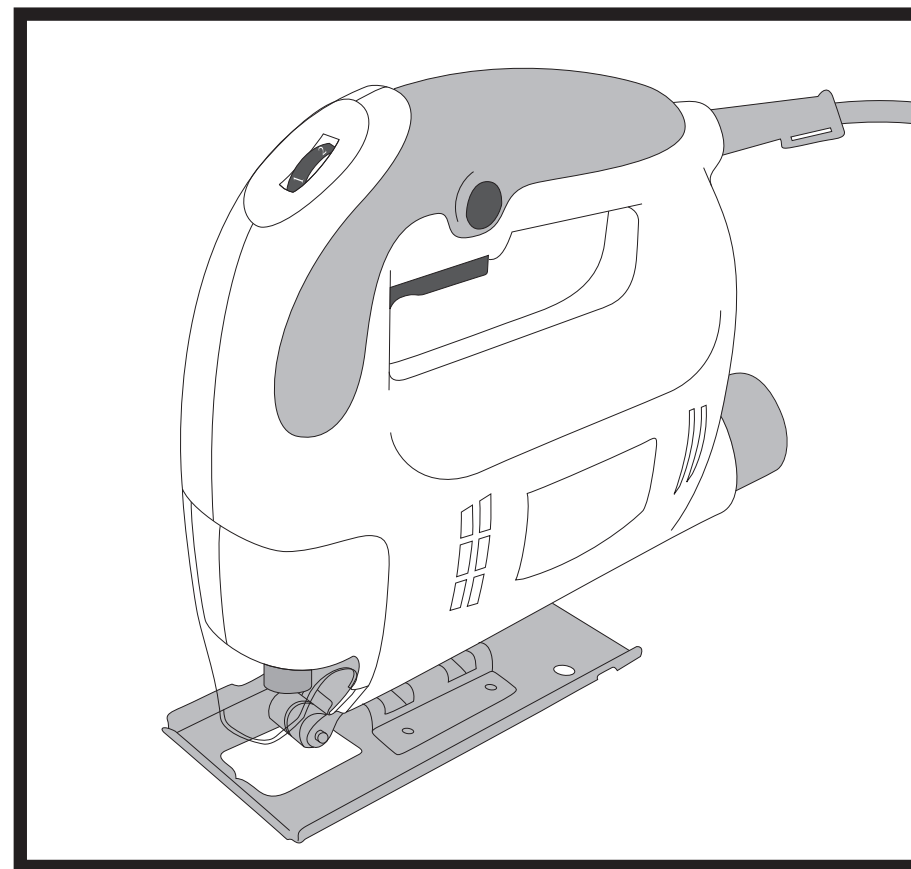
情報サービスセンター	〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160
近畿支店	〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8210(代) Fax.0794-83-5160
中部支店	〒473-0902 愛知県豊田市大林町17丁目7-16	Tel.0565-25-2227(代) Fax.0565-25-2239
九州支店	〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220	Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308
鹿児島営業所	〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目22 Bayside marina 101号	Tel.099-285-1748(代)
広島営業所	〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11	Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311
東京支店	〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9	Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191
熊谷営業所	〒360-0216 埼玉県熊谷市西野68-1	Tel.048-577-3292(代) Fax.048-577-3275
札幌営業所	〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通15丁目8番36号	Tel.011-374-5528(代) Fax.011-374-5529
仙台営業所	〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在2丁目15番地の1	Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766
神奈川営業所	〒243-0206 神奈川県厚木市下川入867-1 アロードルーム1階	Tel.046-265-0365(代) Fax.046-265-0022
金沢営業所	〒921-8066 石川県金沢市矢木三丁目256	Tel.076-240-3630(代) Fax.076-240-3515

E-Value

EJ-400SC

ジグソー

取扱説明書



このたびは E-Value ジグソーをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

お読みになったあとは必ず保存してください。

目次

1. 安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと	P.1~3
2. ジグソー使用上のご注意	P.4
3. 各部の名称	P.5
4. 仕様明細	P.5
5. ジグソーブレードの交換方法	P.6
・ジグソーブレードの取り付け方	P.6
・ジグソーブレードのはずし方	P.7
6. 作業方法	P.8~12
・スイッチの操作方法	P.8
・ロックスイッチの操作方法	P.8
・無段変速ダイヤルの操作方法	P.8
・切断方法	P.9
・定規	P.10
・ベースの角度調整	P.11
・集じん機構	P.11
・ストレート治具の作り方	P.12
7. 保守・点検について	P.12
8. 分解図・部品表	P.13

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用ください。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管してください。
- △注意 本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

警告

1. 作業をする時の服装について

- 電動工具を使用するときは、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけてください。屋外作業をするときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- ・ 作業中、本機工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないでください。
- ・ 作業中回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用してください。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業するようにしてください。
- ・ ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにしてください。
- ・ 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具モーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。
- ・ 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないでください。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないでください。
- ・ 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないでください。
- 感電の恐れがあり大変危険です。



警告

3.電気について

- 使用電源は銘板で表示してある電圧でご使用ください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったり、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。2重絶縁品を除き必ずアースを接地してください。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
 - ・ スwitchを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作業するか、工具（砥石等）にひび割れ、亀裂がないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼してください。
 - ・ ネジがゆるんでいたり工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業の時は開始前に1分以上回転させてください。
 - ・ 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業台の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
 - ・ 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
 - ・ スwitch、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等を行いますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。



警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気が付いたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりではなく大変危険です。コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
 - ・ コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具（スパナ・ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
 - ・ 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
 - ・ 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
 - ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
 - ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5.手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用ください。
 - ・ 使用後汚れたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
 - ・ 切れ味が悪いと仕上がり面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
 - ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

ジグソー安全上のご注意

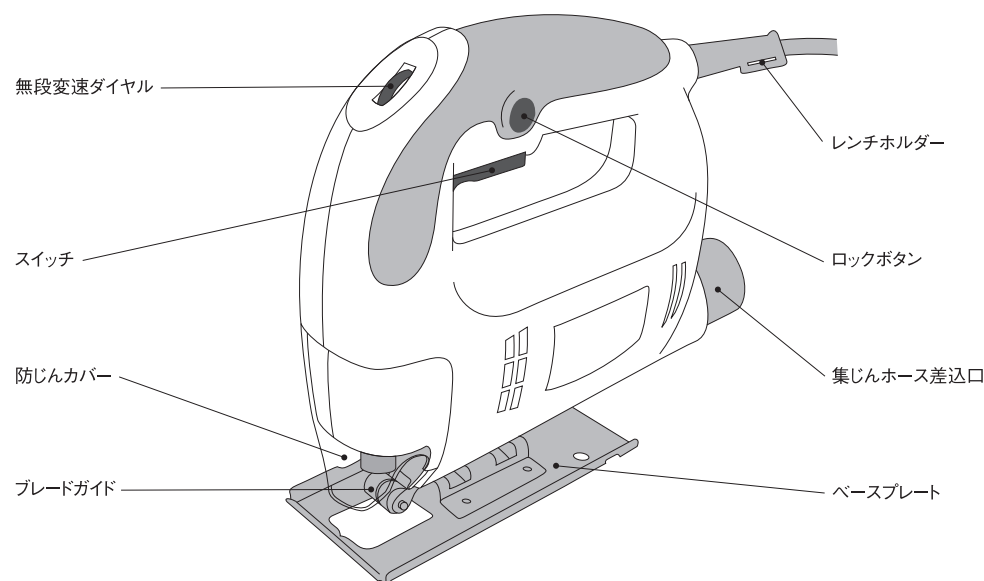
⚠ 警告

- 使用電源をお確かめ下さい。(100V 50/60Hz)
表示を超える電圧での使用は、速度が異常に速くなり事故の原因となります。
- 作業する所に電線管・水道管・ガス管など埋設物がないか必ず確認して下さい。
埋設物があるとジグソーブレードが触れ、感電・漏電・ガス漏れ等の事故になります。
- 使用中は本体を確実に保持してください。
確実に保持しないと事故の原因となります。
- 使用中に、本機の調子が悪かったり、異常な音がしましたら、直ちにスイッチを切って作業を中止し、お買い求めの販売店にて点検を依頼してください。
そのまま使用しておりますと事故の原因となります。
- ジグソーブレード(鋸刃)に変形や亀裂その他破損がないか必ず確認の上取り付けてください。
変形・亀裂・破損はケガの原因となります。

⚠ 注意

- ジグソーブレード(鋸刃)は、取り扱い説明書にしたがって確実に取り付けてください。
- 作業直後のジグソーブレード(鋸刃)は大変熱くなっております。
手で触れないようにして下さい。
- ジグソーブレードの取り扱いには十分注意してください。
手袋などを着用してジグソーブレードは取り扱ってください。
- ジグソーブレードの取り付け・取り外しの際はスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
事故の原因となり、大変危険です。
- 能力以上の厚さのものは切断しないでください。
故障・事故の原因となります。
- ジグソーブレード(鋸刃)は切断材料に合わせて、最適なものを選んでください。
- 使用中は、ジグソーブレード(鋸刃)や切断部に手や顔を近づけないでください。
事故の原因となり、大変危険です。

各部の名称



仕様明細

形 式 名	EJ-400SC
最 大 切 断 能 力	木材 : 50mm
	軟鋼板 : 4mm
	アルミニウム : 8mm
電 源	単相交流 100V 50/60Hz共用
消 費 電 力	400W
ス ト ロ ー ク 数	800~3000min ⁻¹
ス ト ロ ー ク 幅	18mm
傾 斜 切 断 角 度	左右 0~45°
質 量	約1.75kg
機 体 サ イ ズ	約W230×H190×D70mm

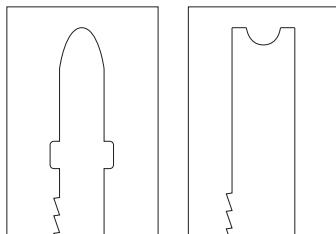
ジグソーブレードの交換方法

■ジグソーブレードの取り付け方

本機はT型シャンク（ボッシュタイプ）とU型シャンク（穴なしタイプ）が取り付けできます。ジグソーブレードはT型シャンク（ボッシュタイプ）、又はU型シャンク（穴なしタイプ）のものをご使用ください。

※本機に市販のブレードを取り付ける際には、取り付け部の形状と幅にご注意ください。

本機に取り付け可能なブレード



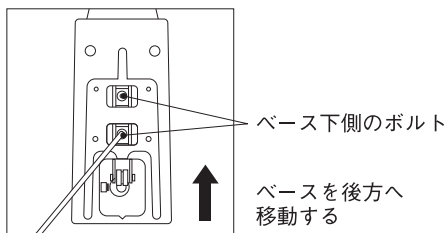
T型シャンク
(ボッシュタイプ)

U型シャンク
(穴なしタイプ)

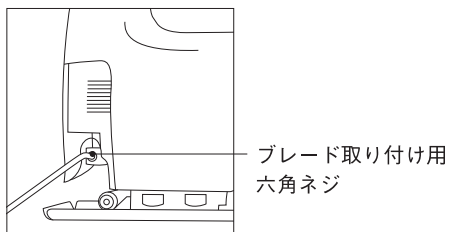
⚠ 警告

ブレード交換の際は、必ず、本体のスイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

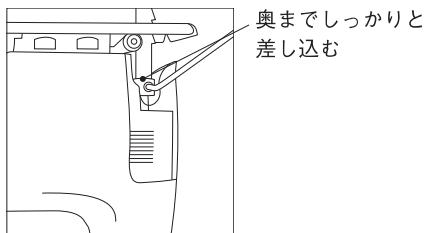
①ベース下側のボルト（2ヶ所）を付属の六角棒レンチ（3mm）でゆるめ、ブレードガイドを後方へずらします。



②防じんカバーを上方へスライドさせて防じんカバーの隙間から付属の六角棒レンチ（3mm）を使ってブレード取り付け用六角ネジをゆるめてください。

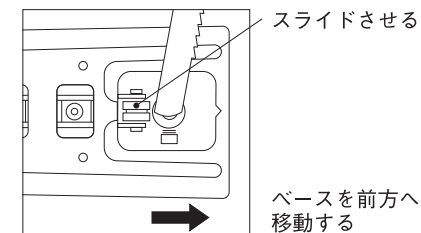


③ブレードを前向きにして、取り付け口に奥まで差し込みます。



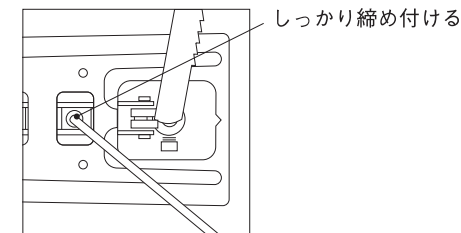
④②のところでゆるめました六角ネジをしっかりと締め付けてください。

⑤ベースを前方に移動させて、ブレードガイドの溝にブレードの背中側を軽く当て、ベース下側のボルト（2ヶ所）を十分に締め付けます。



⑥ブレードを引っ張って抜けないか確認してください。

※ブレードガイドにはときどき注油を行ってください。



⚠ 注意

ブレード取付用六角ネジがゆるむと、ブレード破損の原因になりますので、しっかりと固定してください。また、取り付け口に粉じんなどがつまっていると、ブレードが十分に挿入されず、締め付けが不完全となりますので、ブレード取付前に十分ご確認ください。

■ジグソーブレードのはずし方

- ①防じんカバーの隙間から付属の六角棒レンチ（3mm）を使ってブレード取り付け用六角ネジをゆるめてください。
- ②ジグソーブレードを軽く手でもって、引いてください。

作業方法

■スイッチの操作方法

- ・スイッチを押す → 作動
- ・スイッチから手を離す → 停止

■ロックスイッチの操作方法

- ・スイッチを押した状態で、ロックボタンを押す → 連続運転
(スイッチから手を離しても、作動状態が保たれます)
- ・再度スイッチを押す → 連続運転が解除されます。

■無段変速ダイヤルの操作方法

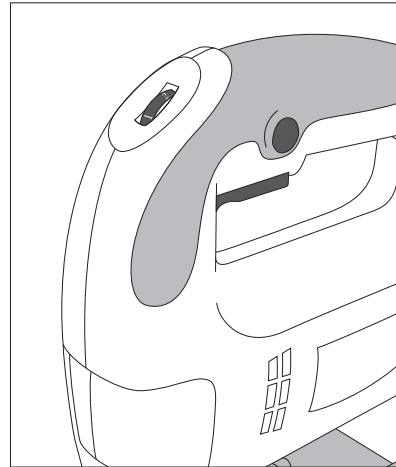
無段変速ダイヤルによってジグソーブレードのストローク数を調整することが出来ます。
(800～3000回/分)

ダイヤルを本体前方へ回すにつれて、ストローク数が多くなります。

- ・ダイヤル目盛り 1～6
- ・ストローク数 800～3000回/分

〈ストローク数の目安〉

軟鋼板	3～5
ステンレス	3～4
アルミ	4～6
プラスチック	2～4
木材	4～6



⚠ 注意

少ないストローク数で（ダイヤル目盛り1・2）での長時間の作業はお止めください。モーターの回転数が落ちることでモーター冷却ファンの回転が落ちて、本機が熱くなります。

■切断方法

⚠ 注意

- ・コード誤って切断しないように注意してください。
- ・材料はしっかりと固定してから、作業してください。
- ・メインスイッチを押してジグソーブレードのストローク数（回転数）が十分に上がってから、材料に当ててください。
- ・急激にブレードをひねるような切断は避けてください。

- ①ジグソーブレードに欠けや、変形がないか確認してください。
- ②防じんカバーをおろしてください。
(防じんカバーは上方へ引き上げるようにスライドさせます)
- ③スイッチを入れて回転が十分にあがりましたら、材料に当てて切断を始めてください。

⚠ 注意

回転させる前や、回転が十分に上がっていない状態で切断物に刃を当てたり、切断を開始することは絶対にしないでください。故障の原因となります。

- ①本体のベースプレートの全面が切断材料に接していくように注意しながら切り進めてください。
- ②ジグソーブレードの動きが鈍くならない程度の速度で切り進めてください。
過度の力で押し進めても、切断速度は速まらないばかりかモーターにも負担がかかり、故障の原因となりますし、危険です。
- ③切断終了後、スイッチを切ってください。このときブレードを何かに押し付けるなどして、無理に止めたりしないでください。
- ④ジグソーブレードの動きが完全に停止しましたら、本機を置いてください。

*鉄やステンレスなど、金属の切断を行う際は、材料にオイルやグリスを塗って、ブレードの焼き付きを防止してください。また、ストローク数も落として作業をしてください。

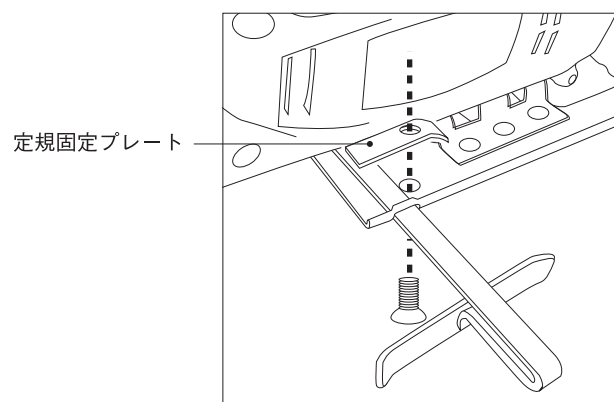
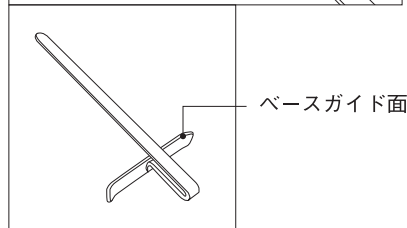
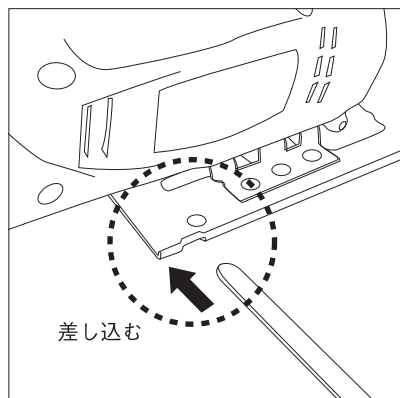
■定規

⚠ 注意

- ・定規の取り付け・取り外しの際は、必ずコードを電源から抜いてください。
- ・コードを電源につないだまま行いますと、事故の原因となります。

本製品は、市販の丸鋸定規が取付出来ます。
※幅13mm×厚さ4mmまで

- ①定規のガイド面を下にして、ベース後方部側面の穴から差し込みます。
- ②付属の固定プレートを定規の上に乗せて、ベースプレートの穴と、固定プレートのネジ穴の位置を合わせてください。
- ③ベース下面から、ベースプレートの穴へ、付属ネジを差し込み、固定プレートのネジ穴へ軽くねじ込んでください。
- ④定規ガイド面からブレードまでの寸法と切断する幅を合わせて、上記③でねじ込んだネジをしっかりと締め付けて固定してください。



■ベースの角度調整

⚠ 注意

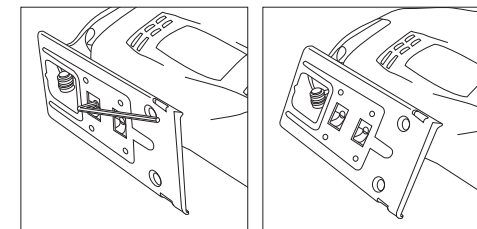
- ・ベースを傾斜させる場合は、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
プラグを電源につないだ状態で行いますと、事故の原因になります。

傾斜切断

本体のベースを傾斜させることによって左右45度までの傾斜切断が可能です。

ベースを傾斜させるには、本体裏についているベース取付ボルトを、六角棒レンチ3mmでゆるめてベースを動かします。

ベース位置が決まりましたらベースに付いている溝と本体裏から出ているピンに合わせてベース取り付けボルトを締め付けてください。



⚠ 注意

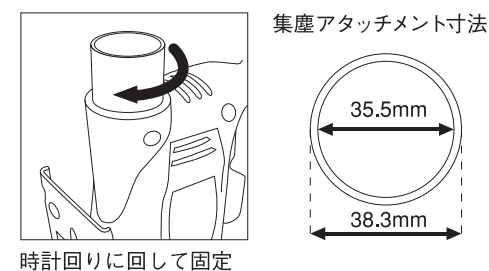
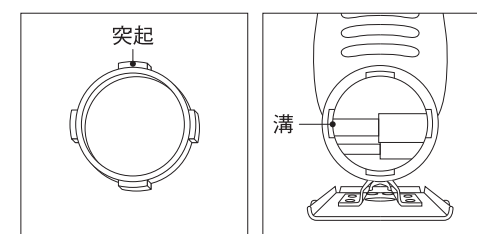
ベース面に付いている目盛りは目安です。正確な角度を出される際はスコヤ、角度定規などでブレードとベースの角度を測ったうえで調整してください。

■集じん機構

本機に集じん機を接続することでより衛生的で快適な作業が出来ます。

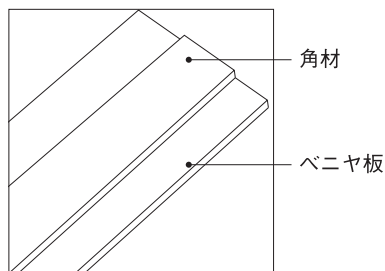
本機後部の集じん口に付属のアタッチメントを接続してください。

外径35mmのホースか内径39mmのホースの接続が可能になります。アタッチメントの取り付け方は、アタッチメント側に付いている突起（4点）と、本機集じん口に付いている溝（4点）を合わせてアタッチメントを差し込み時計回りにひねってください。

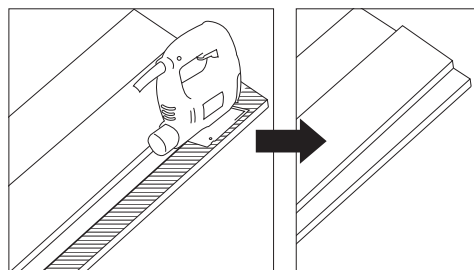


■ストレート治具の作り方

①30×50mm程度の角材をフェンスとして、その下に5mm程度のベニヤ板を接着してください。

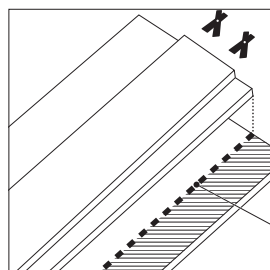


②ベースをしっかりフェンスに沿わせながら進め、ジグソーで、余分なベニヤ板を切りとります。これで、切断用治具の完成です。



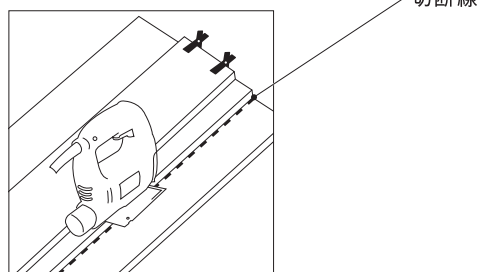
→斜線部を切り落とす

③治具の使用方法は、まず切断したい部材に線を引き、治具の端を、線にあわせて部材の上に置きます。治具と部材をクランプなどで、しっかり固定してください。



→斜線部を切り落とす

④本体ベースをフェンスに沿わせて進めていけば、簡単に何本でも直線切りができます。

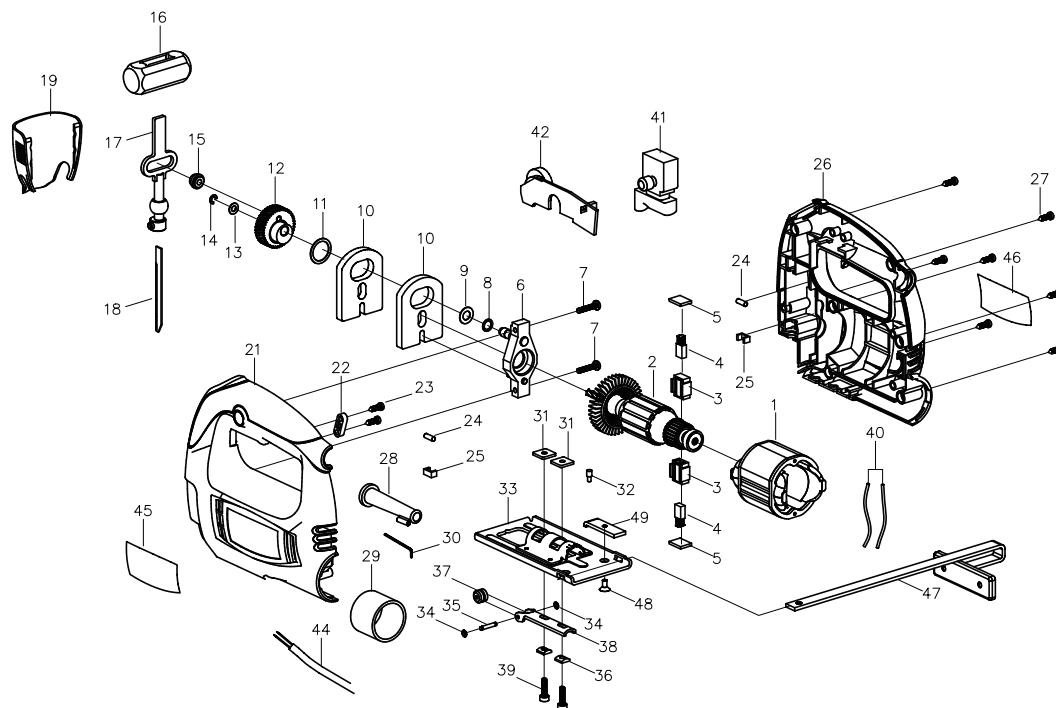


切断線

保守・点検について

ご使用中に、機械の調子が悪かったり、異常を感じられた際はすぐに使用を中止し、お問い合わせいただいた販売店へ、点検・修理を依頼してください。

分解図・部品表



番号	部品名
1	ステーター
2	ローター
3	ブラシホルダー
4	カーボンブラシ
5	エボキシブロック
6	ミドルホルダー
7	ネジ25mm長
8	ワッシャー
9	ワッシャー
10	バランスプレート
11	ワッシャー
12	ギア
13	ワッシャー

番号	部品名
14	Eリング
15	回転リング
16	スライドベアリング
17	ブランジャーA'ssy
18	ブレード
19	安全カバー
20	部品名なし
21	ハウジング(左)
22	コードクランプ
23	ネジ16mm長
24	ピン
25	部品名なし
26	ハウジング(右)

番号	部品名
27	ネジ19mm長
28	コードカバー
29	集塵アダプター
30	六角棒レンチ3mm
31	ナット
32	ピン
33	ベースプレート
34	Eリング
35	ガイドホイールシャフト
36	四角ワッシャー
37	ガイドホイール
38	ガイドホイールアダプター
39	六角穴付ネジM4×12mm

番号	部品名
40	リード線
41	スイッチ
42	変速ダイヤル
43	なし
44	電源コード
45	商品ラベル
46	銘板ラベル
47	平行定規
48	ネジM5×10mm
49	定規固定プレート